

## 鎌ヶ谷市生涯学習審議会 令和6年度第2回会議 会議録

◎ 開催日時 令和7年2月7日（金） 午後2時から午後3時15分まで

◎ 会 場 鎌ヶ谷市役所 6階 第2委員会室

◎ 出席委員 8名

伊藤眞由美会長、篠田繁副会長、飯田卓委員、石田友和委員、稲葉祐美委員、  
内山しのぶ委員、榎本光恵委員、佐藤克己委員

◎ 欠席委員 5名

有川かおり委員、小川輝雅委員、御代川泰久委員、矢島義文委員、  
横井道男委員

※鎌ヶ谷市生涯学習審議会の委員定数13名に対し、出席委員8名であり会議は  
成立した（鎌ヶ谷市生涯学習審議会条例第5条第2項の規定に基づく）。

◎ 事務局 10名

小笠原生涯学習推進課長、荻原生涯学習推進課課長補佐、小島青少年係長、小  
松崎青少年センター所長、斉藤図書館長、堀生涯学習推進係主査補、三石郷土  
資料館長、後野文化・スポーツ課長、飯村文化・スポーツ課副主幹、長谷川企  
画調整係主事

◎ 傍聴者 0名

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議録署名人の選出

会議録署名人は、佐藤委員、篠田副会長に決定した。

4 議題

(1) 報告事項

ア 令和6年度生涯学習関係事業報告及び令和7年度生涯学習関係事業計画に  
ついて

～事務局から資料に基づき説明～

## 資料の訂正

- ・ 3 ページ 鎌ヶ谷市成人式～二十歳の集い～  
予算案（千円） 【誤】 4, 1 3 1 【正】 3, 9 4 1  
会場設営委託 【誤】 3, 6 1 1 【正】 3, 4 7 1
- ・ 6 ページ 成人期 中央 家庭教育支援  
【誤】 思春期を持つ保護者向け講座  
【正】 思春期の子どもを持つ保護者向け講座
- ・ 7 ページ 高齢期 北部 北部シルバーカレッジ  
【誤】 高齢期の学習課題、現代課題及び～  
【正】 高齢期の学習課題、現代的課題及び～
- ・ 17 ページ 新春マラソン大会及びスポーツ推進委員の長寿大運動会  
【誤】 市民体育館改修工事のため中止。  
【正】 市民体育館改修工事のため延期。

## 【意見及び質疑応答】

副会長： 会議資料 16 ページの歴史的建造物保存活用事業について、国登録有形文化財澁谷家住宅は、どこにあるのか。また、見学はできるのか。

事務局： 澁谷家住宅は、佐津間地区にある。公開について、来年度の実施設計、令和 8 年度の改修工事を経て、令和 9 年度からを予定しているが、見学会は年に 3、4 回実施しており、今年度も 11 月に実施したところである。

委員： 同じく歴史的建造物保存活用事業について、来年度予算案がかなり高額に感じる。令和 8 年度以降の予算を含めると、この事業の総額はいくらになるのか。

事務局： 現段階では工事の項目出しの最中のため、総額は出ていない。

委員： かなり高額になる可能性が考えられるが、事業に対する市民の評価はどうなのか。

事務局： 市は、澁谷家住宅について、市内で最も古く、唯一の江戸時代後期の建物として位置付けているほか、国の登録有形文化財でもあるため、補助金も得ながら整備する予定である。幕末の志士、澁谷総司の生家ということもあり、市民はもちろん、市外のファンからも多くの注目を集めているが、より親しまれる場所にするべく、整備を進めていく。

委員： 親しまれる場所にするとはどういうことか。

事務局： 澁谷家住宅保存活用計画を作るにあたっては協議会を立ち上げ、市民にも入ってもらい、検討した結果を盛り込んだ。建物の古さだけではなく、江戸時代から平成まで住み続けられた空間であることがとても良いという意見を踏まえ、現代まで続いてきたことを認識できるような空間づくりを考えている。地元ボランティアに協力をいただくことも考えており、行政

だけではなく、市民目線で一緒に残していく、活用していくことを考えている。佐津間地区はほかにも歴史や自然が多く残るエリアであることも、一体的に考えていきたい。

委員： 会議資料14ページ、文化系の事業計画として、予算案に指定管理料と記載があるが、具体的な数字は載せないのか。

事務局： 会議資料18ページ、スポーツ系の事業計画には、指定管理料との記載ではなく具体的な数字を載せていることから、今回は文化係についても数字を記載する。

委員： 会議資料3ページ、成人式について、今年はどんなことを行ったか。

事務局： 成人の記念として実行委員が考えたバルーンアートを1部屋分飾ったほか、お世話になった先生からのビデオレターを上映した。また、日本の文化に触れる機会として、お茶室を設けた。

会長： 同じく成人式について、今年度はきらりホールで実施とのことだが、全体が集まることができたのか。

事務局： 対象者約1,000人のうち、出席率は毎年7割程度。きらりホールに収容できるのは530人のため、二部に分けた。一部は鎌ヶ谷中学校、第二中学校区の出身者、二部は第三中学校、第四中学校、第五中学校区の出身者を対象とした。来年度も福太郎アリーナ改修工事のため、同じ方法を予定している。

#### イ 令和7年度社会教育関係団体に対する補助金交付について ～事務局から資料に基づき説明～

##### 【意見及び質疑応答】

委員： 事務局から実績は示さないと説明があったが、どういうことか。

事務局： 前回の会議にて、前年度実績を資料に記載するよう委員から要望があったが、この審議会は金額について審議していただく場ではない。補助金の趣旨や効果が団体の目的に合致しているか、意見をいただく場であるため、今後も実績は載せない旨、申し上げた。

委員： 補助金の趣旨や効果が団体の目的に合致しているか意見するには、実績も一つのパラメーターになる。

会長： 令和7年度の補助金について審議しているが、前年度実績、つまり令和6年度実績はまだ出ないのではないか。

委員： 子ども会育成会連絡協議会でも、まだ令和6年度実績は集計しない。

事務局： 金額の是非ではなく、趣旨や目的をもとに審議していただくため、今後も前年度実績は記載しないが、引き続きご意見を賜りたい。

ウ 審議会等出席状況について

～佐藤委員から資料に基づき説明～

篠田副会長からも家庭川柳事業の審査員として報告あり。

**【意見及び質疑応答】**

会 長： 佐藤委員の報告について、鎌ヶ谷市では目の不自由な方向けに、声の広報（広報かまがや）などを届けている。鎌ヶ谷市の図書館としては、何か取組みがあるか。

事務局： 鎌ヶ谷市の図書館では、障害を持つ方に向けた図書の郵送宅配サービスのほか、ボランティアの協力を得ながら、点字図書、デージー図書を作成している。他市の先進的な事例を取り入れながら、引き続きサービスの充実を図っていきたい。

5 閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違のないことを証するために次に署名する。

令和7年3月17日

氏名 佐藤 克己

氏名 篠田 繁